



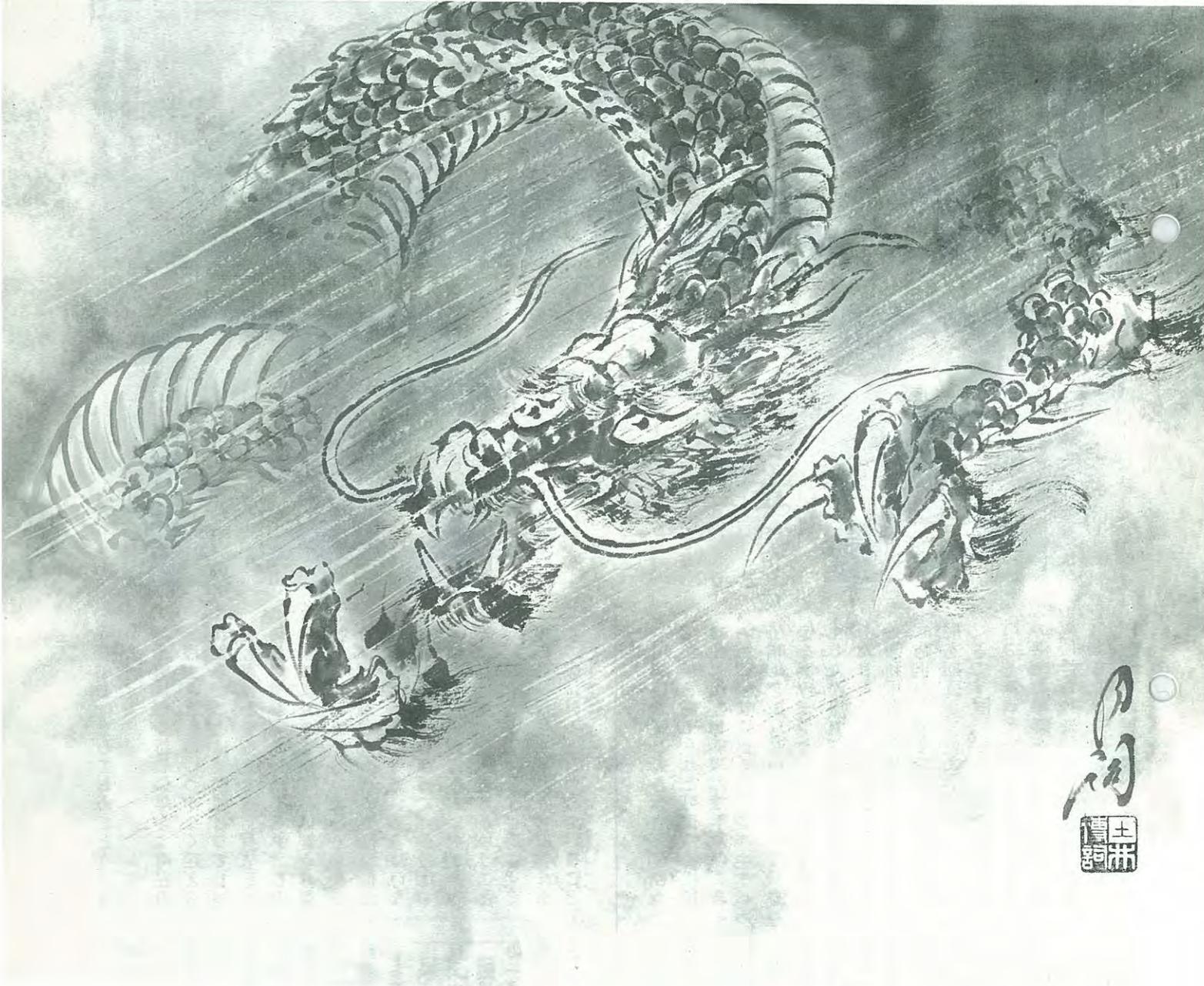
まくるく

わたしたちのまち

(昭和62年12月1日現在)

| | | |
|---------------|--------|--------|
| 人口 | 21,717 | (+12) |
| 男 | 10,606 | (-3) |
| 女 | 11,111 | (+15) |
| 世帯数 | 6,667 | (-9) |
| 一人のうごき (11月中) | | |
| 転入 | 65人 | 転出 68人 |
| 出生 | 26人 | 死亡 11人 |

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



今年 は 辰 年

明けましておめでとうございます。今年 は 辰 年。辰 (竜) は 12 支の中でも唯一の空想の動物です。「一年の計は元旦にあり」といいますが、「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものです。

さて、表紙の墨絵は土井博詞さん (明野) の作品です。1 月 3 日からは弘文堂画廊 (帯広市) で土井さんの個展が開かれます。

63年

1

No.432

年頭にあたって



町の鳥オオハクチョウ(途別川にて)



幕別町議会議長
関口茂男



幕別町長
林照男

新年あけましておめでとうござ
います。

希望に輝く新しい年を、町民の
皆様方とともにつつがなく迎えら
れましたことは、私にとってもつ
とも喜びとするところであります。

さて、今年辰の年です。もの
の本によりますと、竜は昔から靈
物とされおめでたい兆しとされて
おりますが、竜の真の姿は誰にた
ずねてもよく知っている者はいな
いと言われ、わかっているのは、
角があり、鱗があり、ヒゲがあつ
て、足の指が五本あるということ
だけだそうです。しかし竜は、盛
運の勢いが強く、昔から風雲に乗
じて天に昇ると言われていること

明るい希望と大きな期待をもつ
て新年を迎えられた町民の皆様
に議事を代表して謹んで年頭のごあ
いさつを申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、愉
快な事の一つとして、幕別町で誕
生したパークゴルフが急速に普及
したことです。これからは一般の
公園利用者との共存、さらには事
故防止の万全を期すなど健全な発
展を期待しています。

さて、国際貿易摩擦の影響で本
町の基幹産業である農業は未曾有
の深刻な事態を迎えています。年
末に行われました十勝総決起大会
にあらゆる立場を超えて各政党、
団体、行政機関等が一体となつて

から、辰の年は景気も上昇気運に
乗り発展の年といわれているよう
です。是非この辰年にあやかつて、
景気回復が進み、経済の活性化が
図られ、住民生活が向上されるこ
とを期待したいと思います。

私も、幕別町新総合振興計画に
掲げる「生きる喜びを創造するま
ち・幕別町」の理想郷実現に向け
鋭意努力を重ねて参りたいと思つ
ております。どうか皆様方の変わ
らぬご支援ご協力をお願い申し上
げます。

最後となりましたが、町民皆様
の一層のご健勝とご繁栄を心から
お祈り申し上げます、新年のご
あいさつといたします。

北海道・十勝の農業を守ろうと心
を一つにして叫びました。このよ
うな集会は歴史的に初めての事で
あり鮮烈な印象を受けました。私
は遠い昔の「元寇」を思い出し、
苦難に際しては立場を超えて心を
一つにできるものと意を強くした
ものであります。

今年は内需拡大で長引く不況か
ら脱し、景気が少しでも好転する
よう期待したいものです。

私たち議会も躍進の時代に向け
て町づくりに一層の努力を傾注し
てまいる決意であります。

終わりにになりましたが、皆様の
ご健勝とご多幸を祈念して年頭
のごあいさつといたします。

●成人おめでとう

目的をもって本物の人生を目ざそう

1月15日は成人の日です。この日、晴れて成人式を迎えられる皆さんの門出を祝って、元広島東洋カープの衣笠祥雄さんからメッセージをいただきました。昨年、現役を退かれた衣笠さんは、23年間の長い選手時代に数々の

の栄光を積み重ねてきましたが、なかでも足かけ18年にわたって到達した2215試合連続出場は、前人未到大記録です。この偉業を達成された衣笠さんに、昨年6月に国民栄誉賞が贈られました。

新成人に贈る言葉

成人の日の誓いが

野球人生を支えた

元広島東洋カープ選手 衣笠祥雄

二十歳のころ、まだファーム(二軍)にいた頃は、昼間、観客のいないグラウンドで、ひたすら汗を流す毎日を送っていました。自分では「やれる」と思ってプロ野球の世界に飛び込んだのに、一年目も二年目も一軍での試合は三十試合くらい。そこで味わったのは絶望感だけでした。

「プロの選手は一軍の試合で活躍しなければだめだ」という現実の厳しさをいやというほど知らされた頃は、成人式の日の一つの誓いをたてました。

「本物のプロ野球選手になろう。よしんばなれなくても、本物になるための練習だけはやろう」と。

この年の八月二十日、ぼくは一軍に上がることができました。しかし、もしこのシーズンに実績を残していなければ、恐らくぼくはクビになっていたことでしょう。その意味でも、ぼくのプロ野球人としてのスタートは、昭和四十年の入団の時ではなく、昭和四十二年の「成人の日」だったと思っています。

流された人生には

何も残らない

昔の若者と比べて今の若者をどう思うかと尋ねられることがありますが、ぼくはあまり変わらなと思っています。ぼく自身、若いころはずいぶん無茶ばかりしていましたし、まわりの人の目には今という「新人類」のような存在に映っていたかもしれません。

ただ、一つだけ気にかかるのは、ぼくたちのころに比べて、最近の若者は少し幼いと感じてしまうところがあることです。社会が豊かになり、安易な生き方をしようとするれば、それができる時代になった



ということもあるでしょう。また、進学率が高まり、それだけ社会に出る時期が遅くなったという背景もあります。

そんな豊かな時代に生きている皆さんに強く言いたいのは、人生の目的だけはできるだけ早い時期に見つけ出してほしい、ということです。自分は将来、何をやりたいのか、そのためにはいま何をしなければならぬのか——そういう目的意識をしっかり持つていなければ、この豊かな社会の中ではどんどん流されてしまいます。流された人生の後には、何も残らないと思うのです。そんな人生だけは歩んでほしくありません。

君は何をするために

生まれてきたのか

昨年ぼくは、二千百三十試合連続出場の世界記録を塗り替えることができました。これも「本物のプロ野球選手になろう」という目的意識を二十歳のときに持つことができたからだと思っています。ですから皆さんにも、できるだけ早い時期に「自分はこれをするためにこの地球に生まれてきたんだ」と、それくらい大きな自負を持って、本物の人生を目ざしてほしいと思います。

成人おめでとうございます。

(談)

衣笠 祥雄(ぎぬがさ・さちお)

さんの略歴

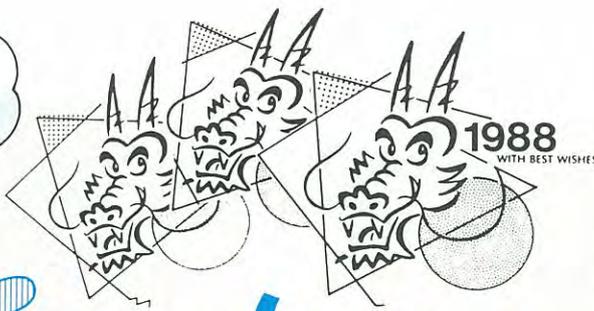
昭和二十二年一月十八日生まれ。四十年に私立平安高校卒業後、広島カープに入団。五十一年盗塁王。五十五年日本新となる千二百四十七試合連続出場を達成。五十八年通算二千本安打達成。五十九年最優秀選手(MVP)賞を受賞。六十二年六月十三日、アメリカのルー・ゲーリック(ヤンキース)の世界記録を超える二千百三十一試合連続出場を達成。六月二十二日、国民栄誉賞を受賞。同シーズンをもって現役を引退。主な生涯記録には通算二千五百四十三安打、五百四本塁打、二千二百十五試合連続出場など。

成人式は1月15日

午前10時から町民会館で

新成人としての門出を祝う「成人式」は一月十五日、午前十時から町民会館で行われます。今年の成人式の対象者は昭和四十二年四月二日から四十三年四月一日までに生まれた方で、男九十三人、女百二十六の計二百十九人。式ではキャンドルサービスや記念品の贈呈、また、幕別混声合唱団やアマチュアのビッグバンドのノーチェアミーゴによる演奏などが予定されています。

われら



新年明けましておめでとう
ございます。
町では、今年も引き続き皆
さんとともに、豊かな町づく
りに取り組んでまいります。
さて、今年のえと・辰年生
まれの人たちに、'88に寄せる
抱負をお聞きしました。

辰年に寄せて

明治37年生まれ



上原 幾次さん
(中央町・無職)

平穩無事であれば いいことなし

生まれは香川県で、幕別には昭和二十二年からお世話になっているよ。戦時中は京都にいたんだが、広島がたった一発の爆弾で焼け野原になったという話を聞いた時にはびつくりしたもんだ。今でも強烈に印象に残っているよ。体はいたって健康だよ。毎日規則正しい生活をおくることを心がけているんだ。日課はタクシーで幕別温泉に入浴していくことと、新聞で日本や世界の情勢を勉強すること。今年の抱負といったって、この年になれば何も望むことはないよ。平穩無事であればいいことなしだね。

家族みんなが 健康な一年を

明野生まれの明野育ちです。農家経営は息子夫婦に任せていますが、昨年は畑の方はまあまあでしたが、乳牛の方は乳価が下がって大変だったようですよ。

私はずっと遊ぶのに忙しい毎日でした。老人クラブの例会のほか、短歌のサークルや踊りのサークルに入っているの、昨年の暮れはいろいろな忘年会で忙しかったですね。春と秋の老人クラブの旅行も楽しみの一つです。

昨年は孫がケガをするなどあまりいい年でなかったの、今年が家族みんなが健康な一年であってほしいですね。

大正5年生まれ



宗広 トクエさん
(明野・無職)

昭和52年生まれ



成瀬 勲さん
(北町・札幌北小学校長)

教員生活の 総仕上げの年

昭和五十二年から明倫小学校に四年間、この学校には昭和五十九年からお世話になっています。明倫小学校に体育館をつくってもらったことが印象に残っていますね。

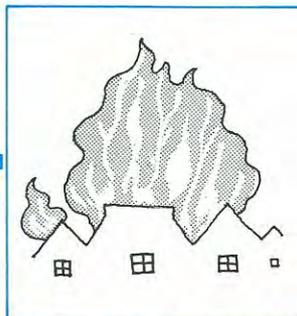
昨年の春には、先生がたの大幅な異動があったので心配していたんですが、熱心な先生がたに恵まれて充実した一年でした。昨年の後半にちょっと体調を崩したので、今年は健康に気をつけたいと思います。来年三月で定年退職となるので、今年が教員生活の総仕上げの年です。たくさんの子供たちと接して、悔いがない一年にしたいですね。

昭和3年



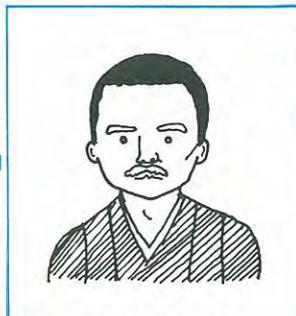
旧役場庁舎落成

大正5年



猿別市街に火災発生、15戸全焼

明治37年



幕別郵便局初代局長・岩永右八、道議会議員に当選

ぼくのイトには何かあったかな



見通しのきく 農業施策を

主人が主に家畜商、息子たちが畑の方をやっています。長男も辰年なんですよ。家畜商の方は良かったようですが、畑の方は少し悪かったですね。私はずっと自家用の野菜作りと花壇作りです。これは両方ともバッチリの一年でした。輸入自由化問題など農業は厳しい状況にあるようですが、今年はどうなるんでしょうね。見通しのきく農業施策を講じてほしいですね。



まつだ
松田ユリ子さん
(明倫・主婦)

昭和15年生まれ

昭和27年生まれ



おかもと
岡本 修さん
(緑町・建設業)

国際交流に

一役かいます

昨年は全国的な住宅建築ブームのおかげで忙しい一年でした。金利の引き下げや売上税が原因だと思えますが、その反動が今年に影響しなければと心配です。

国際交流につながればと二月十二日に開かれる「カナダのセミナー」の企画に参画しています。北海道に気候や風土がよく似ているところですので生活や文化が参考になると思います。たくさんの方が集まってくれるといいですね。昨年は仕事に追われて家庭サービスができなかったため、今年こそは家族旅行でのんびりしたいですね。

親子三代が

辰年なんです

昨年から硬式テニスを始めたんですが、いろいろな人と知り合いになって視野が広がった一年でした。今年は自宅の近くにゴルフの練習場ができるのでゴルフに挑戦します。そろそろ結婚適齢期なのでいい人が見つければいいなあーと思います。もう少し独身生活を楽してみたいですね。仕事の面では、よりお客様に親しまれるよう、お客様と世間話ができるようになりたいですね。

昭和39年生まれ



ふるかわ
古酒とも子さん
(新町・たぐん幕別店)

わが家では祖母、父、私と親子三代が辰年なんです。三人だけでなく家族全員が健康な一年であってほしいですね。

昭和51年生まれ



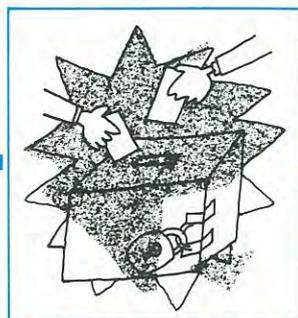
まつだ
松田辰彦くん
(札内南小学校六年生)

今年の春からは 中学一年生

辰年の一月一日に生まれたので辰彦と名づけられたそうです。

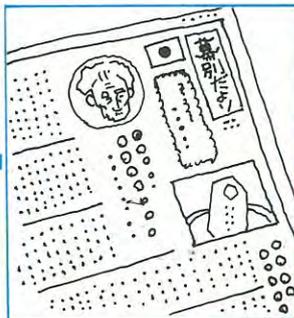
去年の最高の思い出は、修学旅行に行ったことです。小樽や札幌を回ってきましたが、小樽水族館のイルカなどのショーが印象に残っています。今年の春からは中学一年生。中学校へいったらやりたいことがたくさんあります。スポーツは、小学生の時からやっているサッカーをやります。英語を習うのも楽しみです。できれば一人で旅行してみたいけれど、お父さんやお母さんがいいといわないだろうね。将来は警察官になりたいです。

昭和15年



村会議員選挙で違反失格者4名

昭和27年



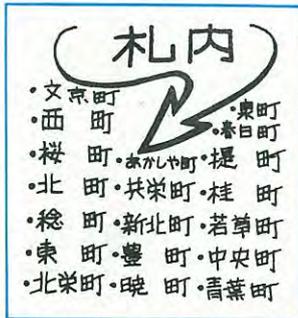
町広報紙第1号創刊。当時は「幕別だより」とっていた

昭和39年



開町以来の冷害凶作

昭和51年



字札内を改称して現在の町名が誕生



見事な舞や歌を披露

第3回交通遺児奨学資金チャリティーショーが11月28日、町民会館地下大ホールで行われました。会場は超満員で約600人がつめかけ、緊張気味ながらも見事な舞や歌を披露する出演者に、惜しめない拍手がおくられていました。



今シーズンも途別川に飛来

町の鳥であるオオハクチョウの一群が今シーズンも途別川（千住橋付近）に飛来し、現在約百二十羽が翼を休めています。飛来地が国道に近いこともあって、週末にはエサを保持した家族連れなど大勢の人がマイカーで立ち寄り、にぎわっています。



楽しく「ペッタン」



町内の各保育所、幼稚園で「もちつき大会」が行われましたが、札内の青葉保育所では十二月二十二日に行われました。子供たちはチョップリ大人の力を借りながら六キのモチをつき上げた後、自分たちで丸めたモチをさっそくほおばっていました。

幕別歌謡連合会主催の幕別有志かくし芸チャリティーショーが12月6日、町民会館で開かれました。カラオケ、舞踊、手品、ダンスなどに約50人が出演し、日ごろの練習の成果を発揮していました。

かくし芸大会に50人が出演



幕別 ⑩ 続・ものごたがり

大正十二年、鹿追町から幕別町駒島に入植した佐藤徳恵さんは、当時十六歳であった。入植した当時は畑などは少しもなく、柏、ナラの林ばかりであった。開墾に先立って木を切り、炭焼き窯を作り、片端から木炭を焼いた。販売先は幕別（止若）市街の笹原商店であった。運搬は馬車や馬ソリが主だった。伐採した後、開墾して畑にしていった。

当時、馬は現在の乗用車であり、トラックであり、トラクターであった。どの農家も馬は家族同様に大切に飼育していた。経営面積の少ない農家でも二・三頭は飼っていた。佐藤さんは当時七十町歩を耕作していたので、常時十頭は飼育していた。

佐藤さんを含め、奥糠内（駒島）に入植した農家は畑作経営が主体であったが、馬の飼育管理に各農家が競って改良に努めたことから、後に地名変更された時に駒島となった。特に品評会、鞍馬（ばんば）競争などが盛んだったところに昭和二十八年、糠内種畜場に種馬「拝夢号」が配置された。拝夢

馬産王国の名を ほしいままにした幕別

幕別町が馬産王国の名をほしいままにしたのは、広大な土地を開く必要と相まって農耕馬としてだけではなく、戦時中は軍馬としての需要が多く、選りすぐって買い上げられ、各農家も期待にこたえて改良に尽力した結果と思われる。また、大正時代から十勝一の馬の産地と内外ともに認められたその裏には、糠内に設置された種付所の功労も忘れてはならない。農林省種馬牧場幕別種付所は大正十二年糠内に開所し、国有種牡馬の派遣などを行い、幕別の馬匹改良および増殖に大きな役割を果たした。

（記・ふるさと館郷土史部会）
山角 芳信



西糠内会館の横にある「拝夢号の碑」

広報クイズ⑩

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがき書いてお送りください。

- 今年幕別町で新成人になるのは
A)219人 B)239人 C)259人
- 明治37年の辰年生まれの人が今年誕生日を迎えると満何歳?
A)満72歳 B)満84歳 C)満96歳
- 町広報紙の第1号が発行されたのは
A)昭和15年 B)昭和27年 C)昭和39年
- 今シーズンも途別川に飛来してきた町の鳥は
A)シマフクロウ B)オジロワシ C)オオハクチョウ
- 明野在住の水墨画家・土井博詞さんが完成させた馬の一生を描いた絵巻の長さは
A)約4千紙 B)約5千紙 C)約6千紙

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

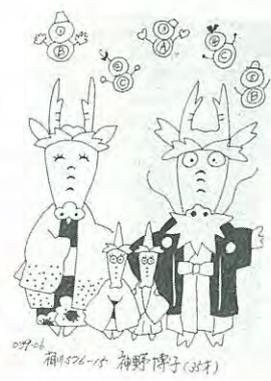
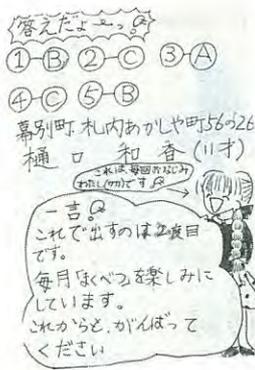
全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先☎089-06 幕別町本町130 役場内・広報係

★締め切り=1月16日(16日の消印有効)

★前回の正解は、①-B、②-C、③-A、④-C、⑤-Bでした。応募25通で全問正解が23通。抽選で次の5人が当選しました。(敬称略)

柏崎公美(15・春日町) 山田政美(?・豊町) 東野浩(?・旭町) 蓑島和加子(34・春日町) 加藤真智子(?・暁町)



みんなの ハガキで 一言

ANSWER (正解は)
①-B ②-C ③-A
④-C ⑤-B



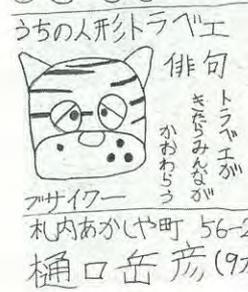
図書券まっます



昨年の八月には娘と共に幕別クラブの名前を胸に卓球で全国大会に出場してきました。東京のオリンピック選手村に泊まり、親子共々、素晴らしい経験をして一生の思い出が一つふえました。娘も毎日一生懸命練習に励んでいます。↓豊町 山田靖子(?)

◆:親子で共通の思い出づくりができるなんていいですね。今年も卓球の練習や大会にガンバって

答え
①=B ②=C ③=A
④=C ⑤=B



うちの人がトラベエ 俳句
トラベエが
きたらみんなが
かわわらう
アサイク
れ内あかや町 56-26
樋口岳彦(9才)

◆:別温泉ホテルへの行き帰りに渡る吐月橋の架け替え予定があるようで、それはありがたいと楽しみにしています。車の往来が激しく、渡るたびに幅が広がったら、歩道が端にあつたらなど思いながら通っています。↓文京町 進藤和子(?)

◆:吐月橋の架け替えや改修についてはたくさんの方から要望を受けています。町としても国との協議を重ねながら、途別川の河川改修にあわせてできるだけ早い時期に実施したいと考えています。

ほんの一言

◆:今度は家族全員でクイズに挑戦です。↓西町 阿彦里枝(二)

◆:図書券がほしいです。それと広報係の皆さんいつもご苦労様です。これからも頑張ってください。↓中央町 松本勝子(?)

◆:図書券がほしいなあー。待っています。↓緑町 桜井剛(二)

◆:冬はパークゴルフもできず運動不足になりますので、トレセンで卓球をして汗を流しています。↓緑町 池上幸一(六)

◆:図書券期待しています。↓あかしや町 藤井邦博(二)

◆:交通安全事故防止のために安全標語をつくりました。↓示そう 人がら 安全運転で

◆:桂町 中山孝義(五)

◆:先月号の表紙の綱引きの写真は私も会場に行つたので印象に残りました。↓旭町 木村正夫(六)

◆:今度は家族全員でクイズに挑戦です。↓西町 阿彦里枝(二)

◆:図書券がほしいです。それと広報係の皆さんいつもご苦労様です。これからも頑張ってください。↓中央町 松本勝子(?)

◆:図書券がほしいなあー。待っています。↓緑町 桜井剛(二)

◆:冬はパークゴルフもできず運動不足になりますので、トレセンで卓球をして汗を流しています。↓緑町 池上幸一(六)

◆:図書券期待しています。↓あかしや町 藤井邦博(二)

◆:交通安全事故防止のために安全標語をつくりました。↓示そう 人がら 安全運転で

◆:桂町 中山孝義(五)

◆:先月号の表紙の綱引きの写真は私も会場に行つたので印象に残りました。↓旭町 木村正夫(六)



新鮮なハーモニーを響かせた演奏会

見事な歌声を披露

まくべつ混声合唱団初の演奏会

昭和六十一年二月七日に発足した「まくべつ混声合唱団」(吉村学団長)の初めての定期演奏会が十二月十二日夜、町民会館で開かれ、新鮮なハーモニーを響かせました。

この日は、同合唱団発足以来重ねてきた練習の成果を発表しようとして、男性八人、女性二十七人の団員が出演しました。演奏会では幕別高校教諭の木下徹さんの指揮でヘンデルの「メサイア」を皮切りに「ハレルヤ」「そららん節」などを次々と披露しました。団員たちは初舞台に少し緊張しながらも見事な歌声を響かせ、満員の聴衆から盛んな拍手がおくられていました。

屋内ゲートボール場オープン

さつそく場内に快音

冬期間でもゲートボールを楽しめるようにと幕別町老人健康増進センター(屋内ゲートボール場)が町内軍岡に完成し、十一月二十八日にオープンしました。待望の施設だけにお年寄りたちは大喜びで、早速、ゲームを楽しみ完成を祝いました。

同センターは、昨年、札内地区

に建設した施設と同規模で、鉄骨平屋建てで、広さは約六百平方メートルです。場内には全面に人工芝が敷き詰められ、正式のゲートボールコート一面がとれます。また、休憩室も備えられています。この日のオープンは午前十時から行われ、幕別地区のお年寄りら約五十人が出席しました。林町長、



さつそくプレーを楽しむお年寄り

長尾玉市町社会福祉協議会長がテープカットを行いました。続いて

34 その時の自分自身を表現

ひと

水墨画家
と井 博詞さん
(明野・62歳)

今月号の表紙を飾っているのは明野在住の土井博詞さんの水墨画。ご厚意により三年連続で新年号の表紙に土井さんの作品を使わせていただいています。土井さんは昨年七月には、馬の一生を描いた六千円におよぶ絵巻を完成させています。

◇

『昨年完成させた馬の一生を描いた絵巻には約五万頭の馬が描かれているが、六千円もあるので展示する場所がないんだよ。未公開の作品があってもいいでしょう。完成までには構想も入ると十年ぐらいかかった

ね。これまで描いた馬の数はおそらく百万頭は超えているんじゃないかな』

◇

『人はぼくが馬を描いているというが、そうじゃないんだ。その時の自分自身を描いているんだ。だから自分の個展には恥ずかしく行けないんだよ。』

何も描かれていない白い紙にむかう時が一番充実した瞬間だね。描き終えたらその作品を燃やしてしまいたいとも思うんだ。

才能がなくても三十年一つのことをやればものになるものだ。あと二十年生きて、まだ筆を持てればうまくなっているかも知れないね。この道に入ってたくさんの友だちができたことが財産だね』

林町長ら四人による始球式のあと、お年寄りらはさつそく初プレーに入り、場内に快音を響かせていました。

同センターは、お年寄りたちで組織する老人健康増進センター管理運営委員会(廻瀬茂委員長)によって管理・運営されることになっており、既に今年の雪解けまでの日程がびっしりと入っています。

「寄付ありがとうございます」

■町へ:

▽第三回交通遺児奨学資金チャリティイシュー実行委員会(富谷町一会長) から二十五万円
▽高桑幸子さん(本町)から三万円
▽中嶋富美子さん(春日町)から十勝愛育園へ一万九千八百三十七円
▽株小林商店(新北町)から五万円
▽幕別ロータリー会(高橋一男会長)から十万円

■社会福祉協議会へ:

▽途別ダンスクラブから一万円
▽斉藤譲治さん(中央町)から三万円
▽幕別中学校吹奏楽部から三万七千五百円
▽小野武夫さん(南町)から五千二百八十円
▽幕別

歌謡連合会(橋本喜作会長)から二十四万一千五百円

■老人クラブへ:

▽札内鉄南老人クラブへ沢合清子さん(あかしや町)から一万円、渡辺フジさん(同)から二万円、森ヤエさん(若草町)から二万円
▽植地綾子さん(緑町)から緑町老人クラブへ五万円
▽菅野みさおさん(弘和)から駒島老人クラブへ三万円
▽伊賀政司さん(新川)から明野新川長寿会へ二万円

■その他:

▽南幕別新生活改善推進委員会へ野呂健治さん(糠内)から三万円、酒井正義さん(明倫)から四万円、菅野みさおさん(弘和)から二万円
▽緑町老人クラブから特別養護老人ホーム札内寮へティッシュペーパー百個

国枝孝吉さんから町へ百万円の寄付

国枝孝吉さん(中里)から中里小学校屋内体育館落成を記念して、体育館の備品購入に役立ててくださいと、町に百万円の寄付がありました。

福をお祈り申し上げます。

なお、葬儀は幕別町議会議員、日成ブロック工業株式会社、十勝畜産農業協同組合、寿町第一公区の間合同葬で執り行われました。

町議会 森脇仁さんが逝去

町議会議員・森脇仁さん(寿町・五十九歳)が十一月二十日、急性心不全のためお亡くなりになりました。ここに謹んでご冥